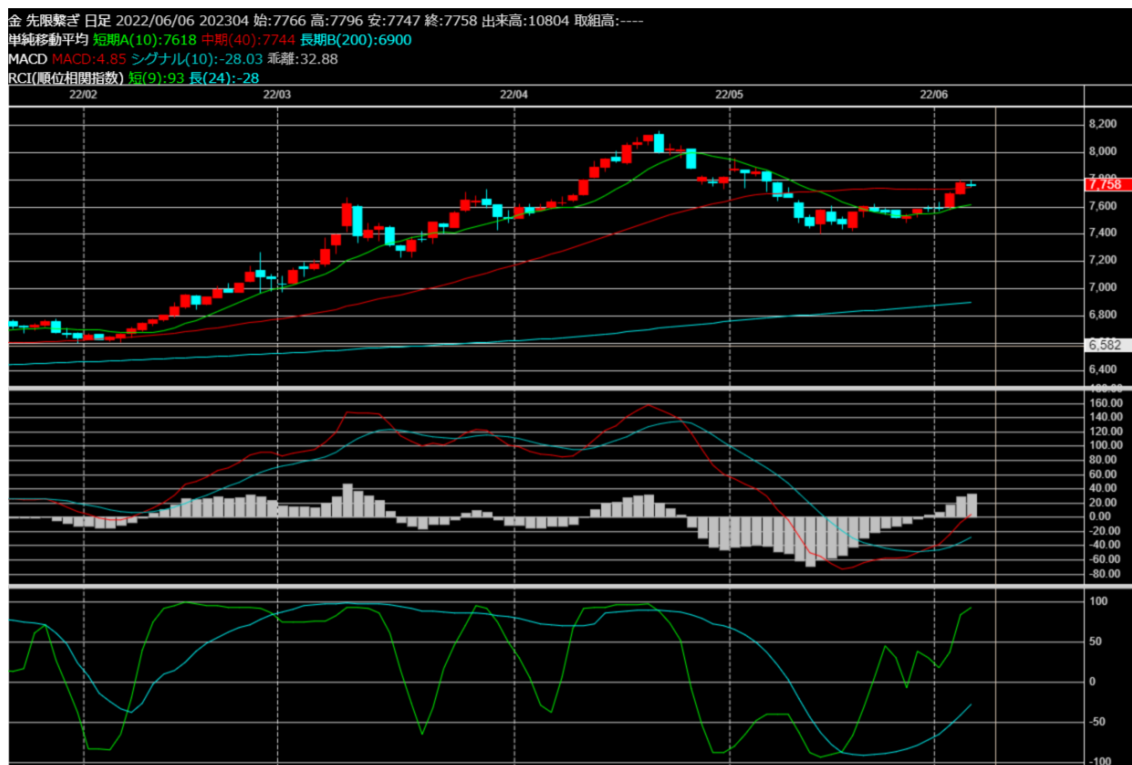


## ＜金標準先物、円安：ドル高で 7800 円超えに期待・・・＞



(出所：オアシス)

31 日にホワイトハウスでバイデン大統領とパウエル FRB 議長が協議を行い、バイデン大統領は物価対応が「最優先事項だ」と述べて、市場ではインフレ抑制の動きが強まり、米国長期債の金利が上昇し、為替市場ではドル高：円安が進む動きを見せている。また週末に発表された雇用統計では、非農業部門就業者数が事前予想の 32.6 万人増を上回る 39 万人増となり、前年比平均時給は事前予想と変わらずの 5.2%となったが前月の 5.5%からは低下している。そのため FRB は雇用改善を示しながら、インフレの落ち着きを受け、利上げを実施する難しい金融政策が問われている。またバイデン大統領は、再度「インフレとの戦いは経済の最優先事項のまま」とこれまでの見解を再表明したことから、FRB の利上げ期待感を強めた事でドル高の動きが強まり一時 130.98 円まで円安：ドル高が進んでいる。

そのため金標準先物は、バイデン大統領とパウエル FRB 議長の協議以降は円安が進む中で 7565 円から 7796 円まで上昇を行なうなど巻き戻しの値動きを見せており、5 月の直近の高値 7893 円に向けた戻りが予想され、今週 9 日に開催される ECB 理事会に向けて高値追いを続ける可能性は高くなったと思える。

### ＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も上昇するなど高値追いを示している。また RCI でも**短期**が上昇しながら**長期**が切り上げるなど、高値追いを示唆する動きを見せており、**40 日移動平均線**の **7744 円**を維持しながら 7800 円を超える値動きが予想される。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 970,600 円(2022 年 6 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 6 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>